

芦安ふれあい運動会・中学生日記！

台風接近による悪天候が心配されましたが、17日(土)だけは風も穏やかで安定した天候となり、「絶好の運動会日和」となりました。児童生徒・保護者・教職員、そして、芦安地区全体の思いが天に届いたのかもしれません。

2輪の“芦安の花”を咲かせた運動会

今回の運動会のスローガンに、「芦安の花を咲かせよう」という言葉がありました。今回、運動会の取組を通して、芦安という地域でしか咲かすことのできない花を見事に咲かせることができました。

①小中合同の運動会

今回開催した「芦安ふれあい運動会」は、芦安小学校・芦安中学校の合同活動としました。芦安中では、生徒数の減少により、中学校単独での体育祭開催が難しい状況となっていました。そこで、小学校で実施している運動会に中学校も共同参画する計画を、昨年度より模索してきました。小中一貫校であり、校舎隣接・校庭供用等の学習環境が整っているからこそ、実施可能な計画です。(他の地区にはない芦安小中独自の取組です！)

②地域参画型の運動会

芦安小中学校は、今年度から学校運営協議会制度を発足させました。この制度の目的は、学校と地域が連携協力して取り組むことにより、特色ある学校づくりを進めることです。今回の「芦安ふれあい運動会」も、芦安地区のみならずにも企画段階から参加していただきました。他の地区にはない、先進的な取組だと思えます。芦安地区に伝わる「芦安音頭」の練習には地元在住の方に指導していただいたり、地域支え合い協議体、北岳健康クラブ、地区体協等の方々にも運動会の運営に携わっていただいたりと、まさに、芦安地区を挙げての一大イベントにすることができました。(①同様に、他の地区にはない芦安小中独自の取組です！)

【運動会前日・色別決起集会の様子】



【運動会当日・中学生出場の種目について】 ※中学生が関わった種目について紹介します。



《開会式》

運動会・開会式の進行は、小学校児童会が担当しました。選手宣誓は、各色組を引っぱる色リーダーの2人が行いました。途中でセリフが詰まる場面もありましたが、会場から「がんばれ！」のかけ声をいただき、2人ともに大役をやりとげました。

《親子種目》

「はじめの体操（ラジオ体操）」の後、親子種目を行いました。この種目に関しては、練習中はパートナーであるご家族のみなさんがいないので、まさに、“ぶっつけ本番”で臨みました。どのペアも楽しそうに競技していて、家族の絆の強さを感じました。



《芦安音頭》



小林校長の「運動会の種目に、地域の宝・芦安音頭を組み入れる」という方針のもと、小学校・河野教頭を窓口として、取組を進めてきました。運動会では、児童生徒・保護者・地域のみなさんで大きな芦安音頭の花を咲かせることができました。

《中学生演技》

練習段階から自主的に取り組んでいて、「これぞ、中学生！」と感じた演技でした。隊形変化も含め、ダンスの質も高かったです。指導・助言していただいた竹鶴先生（体育科担当）も心強い存在でした。



《縦割り対抗リレー》





リレーだけでなく、たてわり種目では、入退場を含め、中学生が各色組集団を整列させたり、競技順や準備品などを確認したりしていました。リレーでは、中学生はトラック1周を走りました。どの生徒も、スケールが大きい、ダイナミックな走りを披露してくれました。

《夜叉神を越えろ》



児童・生徒会で障害物の内容を考えた種目です。学年が上がるにつれて難易度を上げる工夫が見られました。特に、ハードルをくぐる障害は、中学生も苦戦していました。この種目も、中学生はトラック1周を担当しました。（単に走るだけではないので、かなりきつい種目だったと思います。）

《宝拾いの運営》



この種目には、小学生全員と地域のみなさんが参加するため、道具や宝袋等の準備を中学生が担当しました。（裏方に徹する中学生です）また、HPの「お知らせ」でも紹介しましたが、来入児の宝袋は中学生が折り紙等をはり付けて作成しました。その宝袋に貼り付けた折り紙をはがして、大切に持ち帰っていった来入児もいました。

《ザ・腰伸ばし》



オープン競技として、子どもからお年寄りまで楽しめるように考えた競技です。低・高2つのかごを使った「玉入れ」で、高いかごに入ると「3倍ポイント」を獲得できるルールです。このルールが白組に有利に働いたようですね。

《芦安 Uni-Cycle》



芦安小学校全児童が一輪車演技を披露するのが、この種目です。今回は、中学生・卒業生・保護者も参加できる機会も入れ込むことにしました。児童・生徒、保護者・地域のみなさんのレベルの高い演技にびっくりでした。（一輪車演技も、芦安地区の特色の一つですね。）

《綱引き》

練習前半では赤組が圧勝していたのですが、白組も綱の引き方等を修正し、本番に臨みました。そのため、一進一退の好勝負となりました。位置的には、校庭西側が有利なようです・・・。



《閉会式》



閉会式は、生徒会が担当しました。気になる得点結果は、「46vs46」。会場のみんなが納得した同点優勝でした。児童生徒一人一人がそれぞれにがんばった結果なのでしょう。「地域の活性化に貢献できた（生徒会会長）」「3年ぶりに開催できた体育祭に感動（PTA会長）」……。それぞれの思いをしっかり受け止め、今後の学校運営に当たってまいります。

コロナ禍の影響もあり、芦安中学校としては、3年ぶりの運動会(体育祭)開催でした。中3生徒2名にとっては、中学校生活最初で最後の運動会でした。そんな和田PTA会長のお話をお聞きすると、運動会が開催できて本当によかったと感じました。しかも、赤白同点優勝というドラマチックな結末。練習開始時から各色組を引っ張ってきた2人にも、忘れられない運動会(3年分の思いが詰まった思い出)になったのではないのでしょうか。

最後に、コロナ禍にあり、参観人数を制限する学校が多い中、今回開催した「芦安ふれあい運動会」は、地域の方々も含め、参観人数を制限せず実施できた運動会でした。まさに、「コロナに負けない芦安郷育」を実現した取組となりました。

最後の最後に、保護者・地域の皆様のご協力に感謝します。